

事務事業評価表 平成22年度

政策 計画実現に向けて
 施策 開かれた行政づくり
 基本事業 情報公開の推進

事業名 **ホームページ拡充事業**

[0565]

部名	企画政策部	事業開始年度	平成13年度	実施計画事業認定	対象
課名	広報広聴課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市のホームページ
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ・掲載記事量が多くなり充実する。 ・掲載される記事が見やすく、わかりやすくなる。(作成のための標準ガイドラインに基づく) ・市民が市の情報を得やすくなる。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・原課に働きかけをして、記事の原稿を作成してもらう。 ・原課職員がホームページ作成する場合に必要な技術的なサポートを行う。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	コンテンツ量 (種類・ページ数・ファイル容量) (測定不能)					
対象指標2						
活動指標1	新規の記事の本数	件	10	10	9	10
活動指標2						
成果指標1	ホームページアクセス数 (1日当たり)	回/日	900	1,167	1,200	1,100
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	312	680	53	878
正職員人件費 (B)		千円	8,374	8,358	8,298	8,328
総事業費 (A) + (B)		千円	8,686	9,038	8,351	9,206

費用内訳	
21年度	委託料 53千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	インターネット環境、パソコン利用の増加の中でホームページを活用した情報の提供が求められている。 主要なコンテンツを掲載し、運用するノウハウが整理されつつある。 ホームページの運用業務が広報部門に移行し、広報誌とホームページの連携が深まりつつある。
--------	--	-------------	---

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

市民に対する情報提供・公開は行政の大きな役割である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

「情報公開の推進」と「広報の充実」という表現は異なるが一体と考えるべき事業である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

ホームページの1日当たりのアクセス数は、計画に対して20%上回った。理由は、コンテンツ内容の充実によるものと推測される。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

各分野の情報コンテンツ充実を図る。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある
 ない

理由・
 根拠は？

ホームページ全体のコンテンツの質・量は一定のレベルに到達しつつある。しかし、ホームページ全体の見やすいデザインへの改修や更に多くの定期的な閲覧者を獲得するための、特集記事・読み物記事の掲載など今後の課題も多いため、まだコスト削減が可能な状況には到っていない。